

SHIRAKOBATO

しらこぼと



1997. S

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 160

日本野鳥の会 埼玉県支部

支部総会のご報告

平成9年6月29日（日）浦和市内の浦和市民会館で、第13回支部総会が開催されました。43名の支部会員が集まり、工藤洋三幹事の司会で、最初は恒例の記念講演からです。

●本部の若手職員が登場

今年の記念講演は、本部編集局、鈴木寛氏の「『野鳥』誌作りの現場から」。

会社勤めから野鳥の会の職員に転身して、『野鳥』誌作りに情熱をもやす思いを、熱っぽく語りました。

より面白い『野鳥』誌にするには、年12回発行するには……、議論も交わされました。

●総会開始

記念講演が終わって休憩の後、松井昭吾支

部長が開会の挨拶を述べました。

議長に倉林宗太郎幹事、議事録署名人に福井恒人幹事と藤掛保司幹事が選出され、いよいよ総会の開始です。

●8年度事業報告と9年度事業計画

海老原美夫事務局長が8ページに及ぶ配布資料に基づいて、会員増加率は4.2%にとどまった事、合計95回の探鳥会や様々な普及活動を実施した事をはじめとして、研究部・編集部・事業部・野鳥記録委員会の各活動についての8年度事業報告と、ほぼ8年度並みの事業を継続する事を柱とした9年度事業計画案を説明し、一括して承認されました。

●8年度決算と9年度予算

海老原事務局長が左の表の決算書と予算案について、8年度決算の事業部売上高が予算に対して大幅に落ち込んだが、支出の節減に努めて、ほぼ予算通りの結果となった事、水道光熱費の増加は事務局トイレタンクの漏水が原因（修理済）であった事、期末繰越金は、将来の万一の場合に対する財源、あるいは自然保護活動の資金として蓄積するものである事などを説明し、榎本秀和監事の監査報告を経て、異議なく了承されました。

●9年度役員選出

本来であれば総会の席で立候補を募り選挙すべきだろうが、その場では十分な数の立候補者はそろわないと思われることなどの理由から、従来は、それまでの役員会議で推薦する候補者のリストを提出する方法を取ってきた事を説明した上で、役員会案が提出されました。

平成8年度決算・平成9年度予算

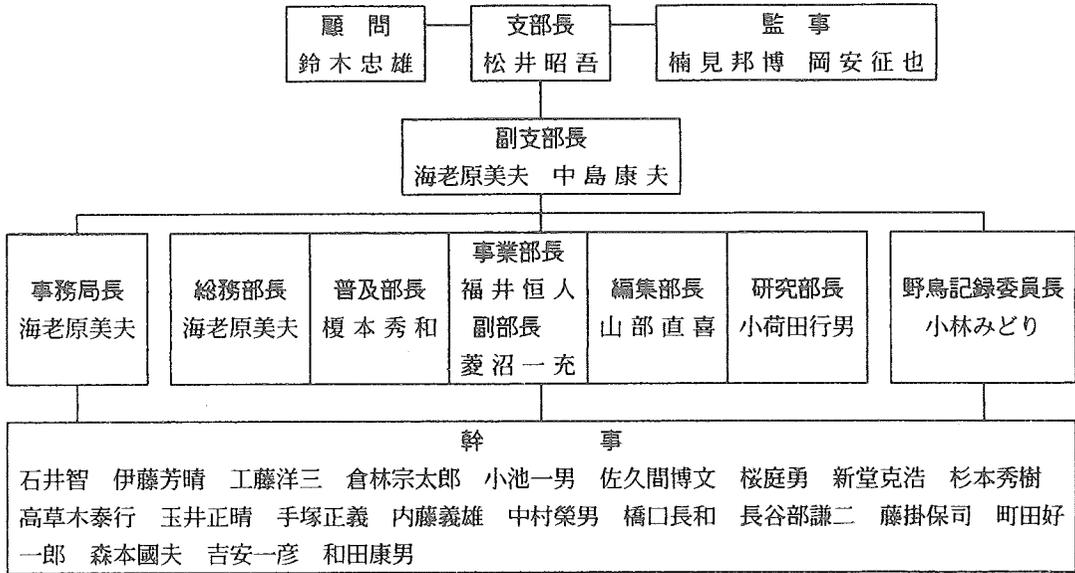
収入の部

項目	8年度予算	8年度決算	9年度予算
一般会計期首繰越金	1,811,228	1,811,228	1,731,358
事業部期首繰越金	4,871,641	4,871,641	5,020,639
会費	4,000,000	4,153,550	4,000,000
寄付金	100,000	158,025	100,000
探鳥会参加費	290,000	309,089	300,000
雑収入	60,000	3,999	5,000
補助金	400,000	400,000	400,000
仮払い金清算	0	41,230	0
事業部売上金額	1,200,000	780,502	800,000
事業部雑収入	0	1,272	1,000
合計	12,732,869	12,530,536	12,357,997

支出の部

項目	8年度予算	8年度決算	9年度予算
什器備品費	500,000	178,314	300,000
消耗品費	50,000	13,687	50,000
支部報印刷費	1,500,000	1,023,408	1,500,000
支部報発送料	1,500,000	1,596,060	1,800,000
印刷コピー代	400,000	378,584	400,000
通信費	250,000	211,424	250,000
雑費	250,000	174,672	250,000
家賃	1,200,000	1,040,000	960,000
水道光熱費	60,000	70,360	80,000
仮払い金	0	5,183	0
総務部費用	150,000	114,630	150,000
普及部費用	180,000	174,817	200,000
編集部費用	50,000	0	50,000
研究部費用	30,000	25,750	30,000
事業部費用	10,000	2,060	10,000
総務部扱仕入代金	0	38,874	0
予備費	800,000	100,000	500,000
事業部仕入れ額	840,000	630,716	640,000
一般会計期末繰越金	0	1,731,358	17,358
事業部期末繰越金	4,962,869	5,020,639	5,170,639
合計	12,732,869	12,530,536	12,357,997

日本野鳥の会埼玉支部平成9年度役員と組織図



前年度の役員の内、田口浩司幹事と登坂久雄幹事が仕事などの都合で退任し、新たな役員としては、玉井正晴氏（蓮田市）と橋口長和氏（春日部市）が推薦され、役員会案は異議なく了承されました。

●支部長などの選出

支部長・副支部長などは、役員会で互選されることになっています。その為ここで一旦総会を中断して、新役員を含めた役員会議を開催して、支部長・副支部長は前年通り留任する事、監事2名の内、楠見邦博監事は留任するが、榎本秀和監事は普及部長に就任したので監事役は退任、代わって岡安征也幹事が監事に就任する事が決まり、再開した総会の席で直ちに報告されました。

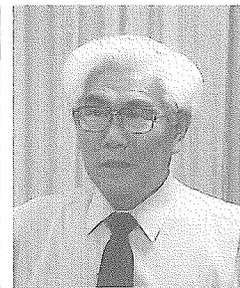
●総会終了とその後

中島康夫副支部長の挨拶で閉会し、希望者が支部事務局108号室に移動し、1,000円の会費と各自持ち寄りの飲み物などで、夜遅くまで語り合いは続きました。

と、ということで、今年も支部総会は無事終了。また1年頑張らなくっちゃと、役員一同覚悟を新たにしています。どうか今後ご協力をお願いします。



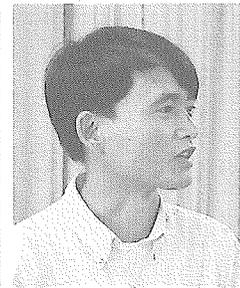
ゲスト鈴木寛氏



松井昭吾支部長



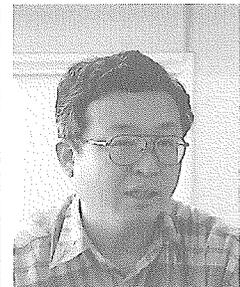
中島康夫副支部長



榎本秀和新普及部長



玉井正晴新幹事



橋口長和新幹事

1997年ガン・カモハクチョウ類調査報告

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

1月15日、県内一斉ガン・カモ・ハクチョウ類調査が実施されました。今年は、本部の湖沼・河川を対象とした鳥の生息環境モニタリング調査と同時に、18ヶ所で行われました。

調査地ごとの1997年カウント結果と過去の合計数の推移を示しました。本年は種数が15と以前と比べれば減少し、また各調査地のカウント数も全体的には減少傾向を示しています。

1982年から継続されている本調査で確認されたのは表に示すように21種ですが、本年はツクシガモ、オシドリ、アメリカヒドリ、ホオジロガモが見られていません。オシドリ、

アメリカヒドリが見られなかったのは、森林公園の山田大沼以外の池と昭和池が調査対象からもれたためと思われます。

本年の一番の話題は、荒川下流、道満の荒川第一調整池（通称・彩湖）でマガンの若鳥が越冬した事です。関東地方は現在ではマガンの太平洋岸の越冬南限であり、本庄市坂東大橋での越冬記録が近年あります。

冷たい北風が強く吹く日々にもかかわらず20名以上の方々にご協力頂きまことにありがとうございます。

(柳原正昭、小荷田行男)

表 1997年カウント調査結果と過去の合計数の推移

調査地	入間川	荒川					芝川	古利根川	利根川	渡良瀬遊水地	宝蔵寺沼	狭山湖	小群川調整池
調査範囲	豊水橋～新富士見橋	荒川鉄橋～戸田橋	道満(荒川第一調整池)	秋ヶ瀬橋～羽根倉橋	南畑排水機場～びん沼川	荒川大橋～明戸堰	東北線～奥大宮栗橋線	春橋～堂面橋	坂東大橋下流	貯水池	沼全部	湖全部	池全部
地域	狭山市	川口市 戸田市	戸田市	浦和市	大宮市 富士見市	江南町 熊谷市	大宮市	越谷市 松伏町	本庄市	北川辺町	羽生市	所沢市	川越市
マガン			1										
コハクチョウ						77							
ツクシガモ													
オシドリ													
マガモ			127		273			385	2,702		209	23	
カルガモ	27	8	90	12	40		97	415	933		64	13	
コガモ	59	85	31	3	514		119	383	180		382	21	
トモエガモ								2					
ヨシガモ								5					
オカヨシガモ	4		3					48	5				
ヒドリガモ		115	255				326	3	215			61	
アメリカヒドリ													
オナガガモ	1	54	31	6	1,300		366	296	2			211	
ハンビロガモ	15		71				18	29	41			15	
ホンハジロ	8	61	290	2	15			8					
アカハジロ													
キンクロハジロ	7	18	20	9	1			6					
スズガモ								2					
ホオジロガモ													
ミコアイサ			4						8				
カワアイサ													
カモSP			1						1,116				
種類	7	6	11	5	0	7	-	5	12	8	-	3	6
合計	121	351	924	32	0	2,220	-	926	1,582	5,202	-	655	344
調査者数	1	1	1	1	0	1	-	6	1	1	-	1	1
1982年合計	-	1,831	-	724	-	408	199	362	-	-	-	4,709	-
1983年合計	-	2,223	-	770	-	339	-	470	-	-	-	6,449	78
1985年合計	-	903	-	-	-	133	-	-	6,284	-	-	4,017	-
1986年合計	-	955	-	1,317	-	37	-	-	1,763	-	-	2,955	-
1987年合計	-	741	-	500	-	24	-	729	3,210	-	-	3,170	-
1988年合計	-	712	-	543	-	457	-	718	3,483	-	-	1,692	-
1989年合計	589	467	-	625	-	162	-	469	3,148	10,890	-	664	-
1990年合計	332	930	-	305	-	-	279	638	1,400	6,110	-	1,071	702
1991年合計	433	227	1,019	28	111	772	-	497	2,136	5,879	-	1,132	-
1992年合計	250	1,045	966	98	-	1,713	-	605	2,367	8,486	-	861	716
1993年合計	170	750	1,270	135	-	1,889	-	585	1,275	3,713	-	528	396
1994年合計	220	415	1,467	141	-	1,267	-	2,006	2,150	2,578	23	848	659
1995年合計	168	338	1,055	408	-	1,576	-	1,191	1,359	3,631	-	745	483
1996年合計	180	464	1,578	69	-	2,568	-	1,010	1,239	4,608	-	531	406
1997年備考	1997.1.19		ヒヨドリ×7羽										

鳥のついで
鳥のついで
鳥のついで

野鳥情報

長瀨町 ◇4月27日、養浩亭付近でヒレンジヤク7羽(森本國夫)。

熊谷市大麻生 ◇4月30日、チョウゲンボウがホバリング。同時刻コアジサシ、カワセミもホバリングしていた。セッカ、オオヨシキリもさえずる。ツグミ約15羽(後藤康夫・喜久子)。

皆野町二本木峠～登谷高原牧場 ◇5月5日、キビタキ♂1羽、ヤマガラ、エナガ、センダイムシクイ(後藤康夫・喜久子)。

皆野町登谷高原牧場～三沢 ◇5月10日、オオルリ、クロツグミ。オオルリは、桐の木の梢でさかんにさえずる。同じ場所で目の前の杉の木の枝に「キョロン、キョロン」と鳴いてクロツグミが現れ、こちらがビックリした。(後藤康夫・喜久子)

川越市今福 ◇5月10日、雑木林でアオゲラ♀1羽(上野英士郎)。

川越市の伊佐沼 ◇5月10日、ツバメチドリ5羽。高く低く上空をえんえん40分以上にわたり飛翔・空中採餌(久保田忠資)。6月1日、子連れのカルガモ2組。1組は9羽、もう1組は12羽の子ガモを引き連れて泳いでいた。ヨシゴイ♀1羽(後藤康夫・喜久子)。

川本町の荒川、明戸堰上流 ◇5月11日、イソシギの中にハマシギ夏羽3羽。コチドリ2羽、コアジサシの求愛給餌。17日、少し

腹部の黒くなってきたムナグロ1羽。18日、キアシシギ10羽、ホトトギス1羽。

6月1日、脚の太ももの部分が真っ赤なダイサギ1羽。標識をつけているのか、色でも塗っているのかとスコープで何度も確認したが間違いなく変色していた。繁殖期にはこういうこともあるのだろうか。14日、明戸堰の土手でウズラ1羽(後藤康夫・喜久子)。

春日部市の内牧公園 ◇5月12日、近くの田んぼでムナグロ18羽、チョウゲンボウ1羽(芳川伸一、リリィ)。

浦和市秋ヶ瀬 ◇5月12日、秋ヶ瀬公園でカッコウの鳴き声を聞く(芳川伸一、リリィ)。6月15日、A区でタマシギ♀1羽。声からすると2羽以上生息していると思われる。チュウサギ20羽以上。同日、B区でオオタカ若鳥1羽。尾羽に欠損があり、風切り羽も不揃い。つらそうに低く飛翔していた(中野光、相澤健志)。6月25日、B区でヒクイナ1羽(細井要)。

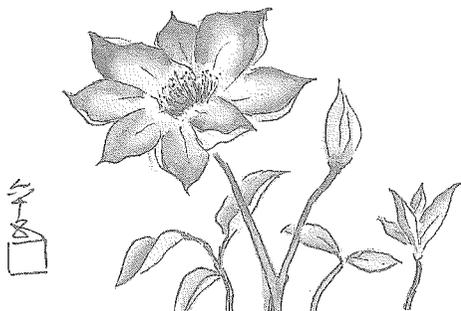
桶川市若宮 ◇5月12日午前9時50分、自宅近くで「ギイギイ」鳴きながら飛んできたコゲラをハシボソガラスが追いかけた後、捕まて食べてしまった。17日、ツミがハシボソガラスに追われて団地内の林の間を飛び回る(立岩恒久)。

三郷市の江戸川上葛飾橋 ◇5月13日、タシギ1羽。28日、カワセミ1羽(岩瀬和志)。

所沢市山口 ◇5月16日、ホトトギスの鳴き声を聞く。18日、カッコウの鳴き声を聞く(小林ますみ)。

坂戸市城山 ◇5月16日、サンコウチョウ♀1羽。「ホイホイホイ」と鳴きながら目の前の木の枝にとまってくれた。目のまわりのコバルト色に感動。26日、ホトトギス1羽。さかんにさえずった(増尾隆・節子)。

横瀬町泉民の森 ◇5月17日、コルリ、ビンズイ、メボソムシクイ、クロツグミ、ツツドリ、キクイタダキ♀1羽。コルリは、あちこちで鳴いているのだが、飛ぶ姿を見るだけで、じっくり観察できずちょっと残念。キクイタダキは目の高さのモミの枝に飛んできてチョココンと乗った。しばし観察



鉄線(諸徳寺六十五)

(小林ますみ)。

久喜菖蒲公園 ◇5月18日、コアジサシ約8羽。上空からダイビングを繰り返す。カワウ中洲に45羽(芳川伸一、リリィ)。

蓮田市の黒浜沼 ◇5月18日、上沼でカッコウ1羽。下沼でアマサギ1羽(田中幸男)。5月30日、上沼でバンのヒナ3羽誕生。ヒナは婦人の拳程の大きさで、黒々としたピロードの羽毛に包まれ、深紅の鼻筋の通った気品のあるものでした(道祖土修一)。

浦和市三室 ◇5月19日、カッコウ2羽、キジ同時に3羽。キジは何回もホロうち。5月25日、ホオアカらしき声を聞く。ウグイス1羽飛来して木の梢にとまる。6月2日、強風の中、ムクドリが恐ろしくらい多数舞い飛び、栗林の中のカッコウ2羽も時々追われる(芳川伸一、リリィ)。

三郷市の江戸川排水機場 ◇5月22日、カッコウ1羽(岩瀬和志)。

吉見町吉見百穴 ◇5月31日、田んぼでアマサギ4羽、ダイサギ、マガモ♂1羽(後藤康夫・喜久子)。

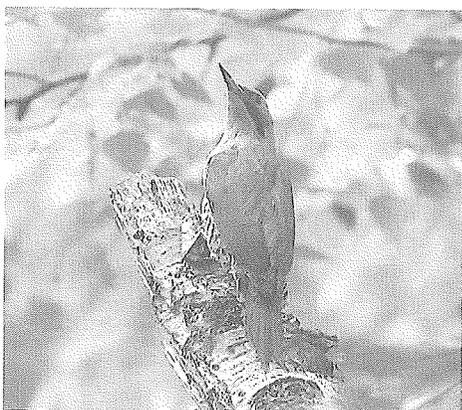
岩槻市の慈恩寺沼 ◇6月2日、バンの親子マコモの際で、はしゃぎ泳ぎ廻る。ヒナ4羽は、まだ親とは似ても似つかぬ姿、形、色。22日、ヨシゴイ1羽。23日、コアジサシ2羽、ヨシゴイ1羽(芳川伸一、リリィ)。

浦和市辻 ◇6月3日午前6時、布団の中でカッコウの声を聞く(倉林宗太郎)。

毛呂山町下河原の星宮神社 ◇6月6日、カッコウ1羽(増尾節子)。

大滝村三峰山 ◇6月7日、コガラ、ヒガラ、ヤマガラ、ゴジュウカラ3羽、アカハラ♂♀各1羽、オオルリ♂1羽、ホトトギス(後藤康夫・喜久子)

小川町の槻川割谷橋付近 ◇6月8日、ゴイスギが飛んでいたの双眼鏡で追っていた



アオゲラ

ら、突然、向かいの山頂付近からミサゴが姿を現す。2~3回旋回して山頂の反対側に消える。21日、水田で採餌中の5、6羽のハシボソガラスをオオタカが急降下して1羽を襲う。1分位じっと押えつけ、近くのヤブの中へ持っていった(後藤康夫・喜久子)。

大宮市の深作遊水池 ◇6月12日、コヨシキリ多数、オオヨシキリ多数、セッカ多数、コアジサシ2羽、ヨシゴイ3羽、ゴイスギ1羽(中村榮男)。

朝霞市上空 ◇台風7号が通過した直後の6月20日午後5時40分頃、オオミズナギドリ形の海鳥1羽が、南西から北東へ低空で飛ぶ(山上善郎)。

嵐山町の槻川二瀬橋上流 ◇6月22日、カワセミ3羽、ミズナラの本でアオゲラ1羽。大きな声で鳴く(後藤康夫・喜久子)。

吉川市中曽根 ◇6月25日、公団住宅建設予定地でコアジサシ30羽前後。幼鳥と小魚を運ぶ成鳥が混じる。夕方、タマシギの声も聞こえてきた(山部直喜)。7月6日、セイタカシギの採餌をビデオでゲット(海老原美夫)。

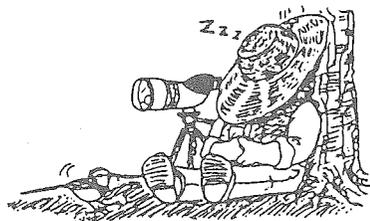
表紙の写真

カッコウ (ホトトギス科)

6月の暑い大久保農耕地(浦和市)。オオヨシキリのにぎやかな声が重なり、カッコウの声が葦原に広がる。その中でこの1羽のカッコウは、枝に平行にとまって静かにしてい

る。メスが託卵のチャンスをうかがっているのだ。結果を見届けようと粘ったが、ふと気がそれた時にいなくなっていた。忍耐力ではとても勝てないな。海老原美夫(浦和市)

行事あんない



(渡辺 敦)

特別な場合を除いて予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費は一般100円。会員と中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。小雨決行です。

自然保護のため、できるだけ電車バスなどをご利用のうえ、指定の集場所までおいでください。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：8月3日（日）

集合：午前8時30分 北本自然観察公園駐車場、または午前8時15分JR高崎線北本駅改札口。集合後タクシーで現地へ。
リーダーの指示で分乗して下さい。

担当：岡安、内藤、榎本、立岩、永野（安）、永野（京）、川那部、島田、大阪、高

見どころ：今年の暑さは、ヒトの体温よりも高温の日も多くて、しかも羽毛をまとった鳥たちにとってはさぞかしキツイことでしょう。「いうまいと思えど今日の暑さかな」とすらすら。生まれ育ったばかりのツバメが燕返しの飛行訓練中です。我々も暑さに負けずに頑張らなくちゃ！

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：8月10日（日）

集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前
交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居9:03発に乗車

担当：和田、森本、中島（章）、石井（博）、倉崎、松本

見どころ：暑い暑い真夏の探鳥会。数は少ないけれど鳥はいます。こんな時期にどんな鳥がいるか探して歩くのもまた楽しいものです。夏の河原はまさにサウナ風呂の効果も有ります。防暑対策を十分に是非ご参加ください。

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：8月17日（日）

集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または、午前9時 浦和市立郷土博物館前

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見、福井、渡辺（周）、手塚、笠原、伊藤、若林、倉林、岡部、兼元、森

見どころ：夏休みはバードウォッチャーにとっては充電の時です。遠くに鳥見に出かけたり、田舎に帰って子供時代に戻りトンボやチョウなどのいろんな生き物に出逢うのが楽しい。そんな話を持ち寄って、見沼たんぼへお出かけください。昨年は水辺でオオバン、アオサギ、ゴイサギ、ダイサキ等が暑さを忘れさせてくれました。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：8月30日（土）午後1時～2時ごろ

会場：支部事務局108号室

案内：支部会員も3000人に手が届くところに来ました。ことによったら今月あたりは届いているかも知れません。このところ仕事量は毎月微増ですが、年間で400人弱の仲間が増えたとなると大変さが若干わかってもらえるかも。今年梅雨明け前から暑かった。その疲れがたまっている頃かも知れませんが、今月もよろしくお祈いします。

リーダー研修会

期日：8月31日（日） 午前9時～午後5時
会場：埼玉県県民活動総合センター
交通：ニューシャトル大宮8:15発に乗車、羽貫駅下車（約23分）、無料送迎バス接続。またはJR上尾駅東口から伊奈学園行きバス終点下車（約27分）、徒歩約10分。

申し込み：榎本秀和普及部長TEL・FAX
まで。

案内：リーダー研修会参加者募集！ 研修会も今年で14回目。支部の活動や探鳥会の運営に興味のある方、参加をお待ちしています。当支部はボランティアが支える支部です。リーダーとなって、あなたの新鮮な力を活かしてください。支部会員であればどなたでも参加できます。鳥についての知識は二の次、大切なのは熱意です。あなたの応募をお待ちしています。

千葉県・船橋海浜公園探鳥会

期日：9月7日（日）
集合：午前9時15分 JR総武線船橋駅改札口付近、集合後京成バス9:40発船橋海浜公園行きにて終点下車
担当：佐久間、菱沼（一）、中村（栄）、篠原（東）、玉井
見どころ：東京湾のタンカー事故には一時どうなる事かと、自然への影響を多くの人が心配しましたが、今のところは大事に至らずホッとしています。公園の沖に広がる三番瀬は自然の宝庫です。秋の渡り鳥に加えて海浜に生息する多様な生物も観察しましょう。
注意：海浜は紫外線が強く日陰もないので帽子は絶対に必需品です。

千葉県習志野市・谷津干潟探鳥会

期日：9月7日（日）
集合：午前9時15分 JR京葉線南船橋駅前
交通：JR武蔵野線 武蔵浦和8:11→南浦和8:14→南越谷8:26→終点下車
担当：杉本、手塚、長谷部、伊藤、新堂

見どころ：ここでシギ・チドリの種類の最も多い月は9月。判別が難しく、と言う人はぜひお出かけください。一方でラムサール条約に守られているこの干潟も、年々荒廃が進んでいるとの話をきくのは心が痛み、寂しいかぎりです。そんな現状も見てください。

おまけの情報コーナー

■第5回野鳥密猟問題シンポジウム

主催：全国密猟対策連絡会

後援：(財)日本野鳥の会ほか

テーマ：野鳥の密猟防止とそのための対策

日時：平成9年9月6日（土）13:00

～7日（日）12:00

場所：広島市三滝少年自然の家

基調講演：「国産と外国産メジロの識別」

(財)山階鳥類研究所 茂田良光氏

内容：1日目 密猟に関する各地の報告と取り組み・その他

2日目 分科会（輸入規制・その他）

参加費：会議（2日間）=1,000円

会議+懇親会 =5,000円

会議+懇親会+宿泊=7,000円

申し込み：〒737広島県呉市阿賀南1

新宅正和 TEL・FAX

問合せ：:

中村桂子

支部からは、福井恒人幹事が代表として出席する予定です。他にも参加できる方は、どうぞお申し込み下さい。

■企画展示「カブトムシ&クワガタムシ」

主催：東大和市立郷土博物館

期間：7月19日（土）～9月23日（祝）

（月曜と祝日の翌日休館）

時間：午前9時～午後5時

入場料：無料

場所：〒207 東大和市奈袋橋1-260-2 同博物館

TEL 0425-67-4800 FAX 0425-67-

4166（西武拝島線東大和市駅から青梅

車庫行きまたは長円寺行きバスで、八

幡神社下車徒歩2分）

内容：世界のカブトムシとクワガタムシが大集合

行事報告



2月9日(日) 大宮市 深作川遊水池

参加: 49人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ バン タゲリ イソシギ キジバト ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ツグミ ホオジロ カシラダカ オオジュリン カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (27種) 参加者の半数は地元の団地の方で、鳥見は初めて。タゲリやマガモの美しさに驚き、身近にこんなに沢山の鳥がいることにも驚いていました。探鳥会に大勢の新しい参加者に来てもらい、自然のすばらしさを知ってもらえる見本のような探鳥会でした。(中島康夫)

4月25日(金) 浦和市 秋ヶ瀬

参加: 76人 天気: 晴

カワウ ゴイサギ コサギ カルガモ コジュケイ キジ キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ コルリ ツグミ ウグイス センダウムシクイ オオルリ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ クロジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (31種) 開始早々ピクニックの森でコルリの声に色めきたった。オオルリの姿も多くの人が見ることができた。コゲラの巣から顔を出しているところも観察できた。子供の森では、センダウムシクイが大きな声で鳴き、一部の人は姿も観察できた。(櫻庭 勇)

4月26日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 11人

赤塚義正、荒木恒夫、海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、尾崎甲四郎、倉林宗太郎、佐久間博文、島田恵司、直井麻維子、藤野富代

4月27日(日) 東松山市 物見山

参加: 75人 天気: 快晴

カワウ カルガモ チョウゲンボウ コジュケイ キジ キジバト コゲラ ビンズイ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (23種) 風もなく穏やかな日。これはさっとタカが出ると思いながらスタート。集まった75人の人々に、期待どおりになってほしいと思うほど鳥影はさっぱり。どこに行ってしまったのか。天気が良すぎて鳥は出ないと人は言う。でも、のどかな景色と色とりどりのツツジに見とれながらどうやら終了。(内藤義雄)

4月27日(日) 春日部市 内牧公園

参加: 36人 天気: 晴

コサギ カルガモ コジュケイ キジ ムナグロ キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ ツグミ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (23種) ゴールデンウィーク前半の日曜日。過去最高の36人の参加者がある。近くの里山での地味な探鳥会であるが、常連も多くなり顔をあわせるのが楽しい。林の中でオナガ、シメ、シジュウカラ、コゲラ、アオジを見て、水田では期待のムナグロが出て、探鳥会を締めくくってくれた。(吉安一彦)

4月29日(火、休) シギ・チドリ類調査

ボランティア: 19人

石井智、海老原教子、大坂幸男、金井祐二、倉林宗太郎、佐久間博文、島田恵司、島田沙織里、新堂克浩、高尙宏、高文子、竹内設雄、立岩恒久、田村弘之、中村榮男、福井恒人、藤掛保司、藤野富代、松井昭吾

5月5日(月、休) 千葉県習志野市 谷津干潟

参加: 95人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ コサ

ギ アオサギ カルガモ コガモ オナガガモ
 バン コチドリ シロチドリ メダイチドリ ダイ
 ゼン キョウジョシギ トウネン ハマシギ
 サルハマシギ オバシギ ミユビシギ キアシシ
 ギ オオソリハシシギ チュウシャクシギ セイ
 タカシギ ユリカモメ コアジサシ キジバト
 ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ
 オオヨシキリ セッカ メジロ カワラヒワ ス
 ズメ ムクドリ ハシボソガラス (39種) 大所帯
 でも一緒に鳥を見られるのが谷津干潟のいいとこ
 ろ。初めての人にはシギ・チドリの基本種を、ベ
 テランには珍鳥を楽しんでもらった。(杉本秀樹)

5月10日(土) 蓮田市 黒浜沼

参加: 28人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ アマサギ ダイ
 サギ コサギ アオサギ カルガモ コジュケイ
 キジ バン ムナグロ イソシギ シラコバト
 キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセクレ
 イ ヒヨドリ モズ ツグミ オオヨシキリ セ
 ッカ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ
 ハシボソガラス ハシブトガラス (30種) 元荒川
 から田植え作業真っ盛りの田圃を通り黒浜沼まで
 歩き、80羽位飛来しているムナグロを見ました。
 他には、ここ数年あまり見られなくなったアマサ
 ギがよく見られ、オオヨシキリやキジも全員見る
 ことができました。(中島康夫)

5月10~11日(土~日) 長野県 白馬山麓

参加: 26人 天気: 晴

アマサギ ダイサギ コサギ アオサギ カルガ
 モ ハチクマ トビ ノスリ サシバ キジバト
 アオバト ツツドリ ヒメアマツバメ アマツバ
 メ アオゲラ アカゲラ コゲラ ツバメ イワ
 ツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキ
 レイ サンショウクイ ヒヨドリ モズ ミソサ
 ザイ コルリ ルリビタキ クロツグミ アカハ
 ラ ヤブサメ ウグイス オオヨシキリ メボソ
 ムシクイ エゾムシクイ センダイムシクイ キ
 ビタキ オオルリ サメビタキ エナガ コガラ
 ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ ゴジュウカラ
 メジロ ホオジロ カシラダカ ノジコ アオジ
 カワラヒワ イカル シメ ニュウナイスズメ
 スズメ コムクドリ ムクドリ カケス ハシボ
 ソガラス ハシブトガラス (60種) 夢のバスツア
 ー。「鷹狩山」でキビタキにまず面会。「姫川源

流親海湿原」は鳥も姿を見せず、白馬三山をなが
 めながら一歩へ向かう。夕食前に「倉下の湯」で
 疲れをとり明日に備える。早朝、クロツグミのモー
 ニングコールで「浅間山」へ。ここでオオルリ
 に会える。ノジコもバッチリ!朝食後、上部林道
 へ。昨年ほどのにぎやかさはなかったが、オオル
 リ、キビタキ、クロツグミを全員でじっくり。い
 よいよお別れとバスに乗り込んだら上空でハチク
 マのディスプレイフライト!!見事なハッピーエン
 ディング。渡辺さんに多謝!! (町田好一郎)

5月11日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 45人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ササゴイ ダイサギ コサ
 ギ カルガモ トビ チョウゲンボウ コジュケ
 イ キジ バン イカルチドリ ハマシギ キア
 シシギ イソシギ コアジサシ キジバト カッ
 コウ カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ ハク
 セキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ ウグイス
 オオヨシキリ セッカ コサメビタキ シジュウ
 カラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ
 オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (37種)
 バードソンの日。工藤キャプテンより大麻生での
 期待の鳥はササゴイと言われていた。下見では見
 つからなかったが、チームの到着に合せたように
 現われてくれ、これだけでも何だか責任を果たし
 た気分になった。大麻生で追加できた鳥は7種と
 のこと。今回は初参加の方が多かったが、バード
 ソンチームの対応等で解散が予定より40分ほど遅
 くなってしまった。でも延長料金は頂かないので
 ご容赦を。チームの皆さんご苦労様。(和田康男)

5月15日(木) 栃木県 奥日光 湯ノ湖周辺

参加: 11人 天気: 雨

マガモ アマツバメ コゲラ イワツバメ キセ
 キレイ セグロセキレイ ミソサザイ コマドリ
 コルリ アカハラ ウグイス メボソムシクイ
 エゾムシクイ センダイムシクイ キビタキ オ
 オルリ コガラ ヒガラ シジュウカラ ゴジュ
 ウカラ ニュウナイスズメ スズメ ムクドリ
 カケス ハシボソガラス (25種) 小雨の中、湯元
 温泉を出発。湯ノ湖の周辺でムシクイ類、アカハ
 ラ、ゴジュウカラの巣立ちしたばかりの幼鳥そし
 てコマドリ、コルリの鳴き声を聞きながら湯滝の
 そばまで歩いたところで大雨となり、危険な状態
 となったので途中で中止した。(櫻庭 勇)

連 絡 中 長

●普及部長交代

6月7日(土)に開催された普及部会議で、長年部長をつとめていた中島康夫が退任して榎本秀和が新しく普及部長に就任、引き継ぎが行われました。

6月29日(日)の総会の席で両人がそれぞれ退任と新任の挨拶をしました。(顔写真は3ページに掲載)。中島は、普及部長は退きましたが、引き続き副支部長をつとめます。

●新聞各社に要請文送付

6月に「秩父〇〇番札所〇〇寺の山門でオオルリが子育て中」と場所がはっきりわかる形の新聞記事が掲載され、密猟などをおそれた会員からも対策を求める手紙が届きました。6月15日(日)の役員会議で相談し、要旨次のような要請文を送りました。

「 1997年6月18日
朝日新聞社 浦和支局 御中
埼玉新聞社 御中
毎日新聞社 浦和支局 御中
読売新聞社 浦和支局 御中
日本野鳥の会埼玉県支部
支部長 松井昭吾
お願い

1,できれば野鳥の営巣写真は掲載しない事。
新聞紙上で頻りに営巣写真を掲載すれば、読者は営巣写真を撮影する事は良い事だと思いきこみ、より迫力ある写真をと競いかねません。

2,掲載する場合は、現に営巣中の場所がわかるような記述はさけるか、影響のなくなった巣立ち後に公表する事。ただし、次の年も同じ場所で営巣する可能性がある場合は、巣立ち後でも場所の特定は避ける事。

ツバメなど、例外として考えて良いものもあるかも知れませんが、私たちは野鳥の営巣写真の掲載に危機感を持っています。 」

●関東ブロック会議に出席

6月21日(土)～22日(日)群馬県吾妻町

で開催された関東ブロック会議(吾妻支部担当)に、海老原美夫副支部長・藤掛保司幹事・和田康男幹事が出席。

関東9支部の代表達が意見を交換し、評議員制度検討委員会の答申の受け入れ、その際の評議員の選出方法、渡良瀬遊水地のタカのカウント調査への協力、関東全域のカワウの調査などについて話し合いました。

次回(来年2月ごろ)は、埼玉県支部の担当です。

●8月の事務局 土曜と日曜の予定

- 2日(土)普及部会議。
16日(土)編集会議。
17日(日)役員会議。
23日(土)校正作業。
30日(土)袋づめの会。

●会員数は

7月1日現在2,945人です。

活 動 報 告

- 6月7日(土)普及部会議。
6月14日(土)7月号編集作業。
6月15日(日)役員会議(司会:倉林宗太郎、諫早千瀧緊急救済本部への対応・営巣写真掲載への対応・総会準備・全国密猟問題シンポジウム出席者・その他)。
6月21日(土)7月号校正(海老原美夫・喜多峻次・桜庭勇)。

編 集 後 記

愛知県での万博開催決定の夜、ニュース番組に出ていたある若い女優が冗談混じりにこう言った。「みんな、カナダの自然を守りたかったんですかねえ」。なかなか鋭い、と笑ってから恐くなった。ある国に五輪、万博、W杯と巨大イベントを開催させ、その自然と経済に打撃を与え、人心を荒廃させる。これは軍事力を使わずに国を痛めつける効果的な方法なのでは? なーんて、気の回し過ぎだと思うけど、ちょっとね……。 (みどり)

『しらこぼと』1997年8月号(第160号) 定価100円(会員の購読料は会費に含まれます)
発行人 松井昭吾 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
〒336 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 00190-3-121130
印刷 関東図書株式会社 (本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)